

平成 2 8 年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科 目 名		学年	単位	総授業時数	必修・選択
科学と人間生活		1	2	70	必修
指導 目 標	・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				
	・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。				
	・身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。				
	・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。				
授 業 内 容	第 一 学 期	第一学期授業時数計＜ 24 ＞ 第Ⅰ編 科学技術の発展 情報伝達の発展 ／ エネルギー資源の活用と交通手段の発展／ 医療技術の発展 第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第一章 物質の科学 第1節 材料とその利用／第2節 衣料とその食品			
	第 二 学 期	(達成目標)科学技術の発展が今日の生活を豊かで便利にしてきたことに貢献し、社会の変化に影響を与えてきたことを、身近な科学技術の例から理解する。 身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。			
	第 三 学 期	第二学期授業時数計＜ 28 ＞ 第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第二章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用／光の性質とその利用 第三章 生命の科学 第1節 生物と光／第2節 微生物とその応用			
評 価 方 法	第 三 学 期	(達成目標)熱の性質やエネルギーの変換と保存、有効利用、及び光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解する。植物の生育と光との関係、動物の行動及びヒトの視覚と光とのかかわり、多様な微生物と生態系での働き、微生物と人間生活とのかかわりについて理解する。			
	第 三 学 期	第三学期授業時数計＜ 18 ＞ 第四章 地球や宇宙の科学 第1節 身近な自然景観と自然災害／第2節 身近な天体と太陽系における地球 第Ⅲ編 これからの科学と人間生活 (達成目標)身近な自然景観の成り立ちと自然災害、及び太陽や月などの身近にみられる天体と人間生活とのかかわり、太陽系における地球について理解する。			
教科 書	①定期考査とノート、プリント提出と実験実習提出の合計により評価をおこなう。②定期考査の赤点は平均点の半分以下とする。③学年の評価は1学期、2学期、3学期の評価をもとに決める。④欠時が年間20時間を越えた場合には学年の評定を「1」とする。⑤遅刻は3回で1回の欠席とする。 飲食・携帯など指導に従えない場合は欠席扱いとする。				
教科 書	「新編 科学と人間生活」(第一学習社) ノート、プリント				

